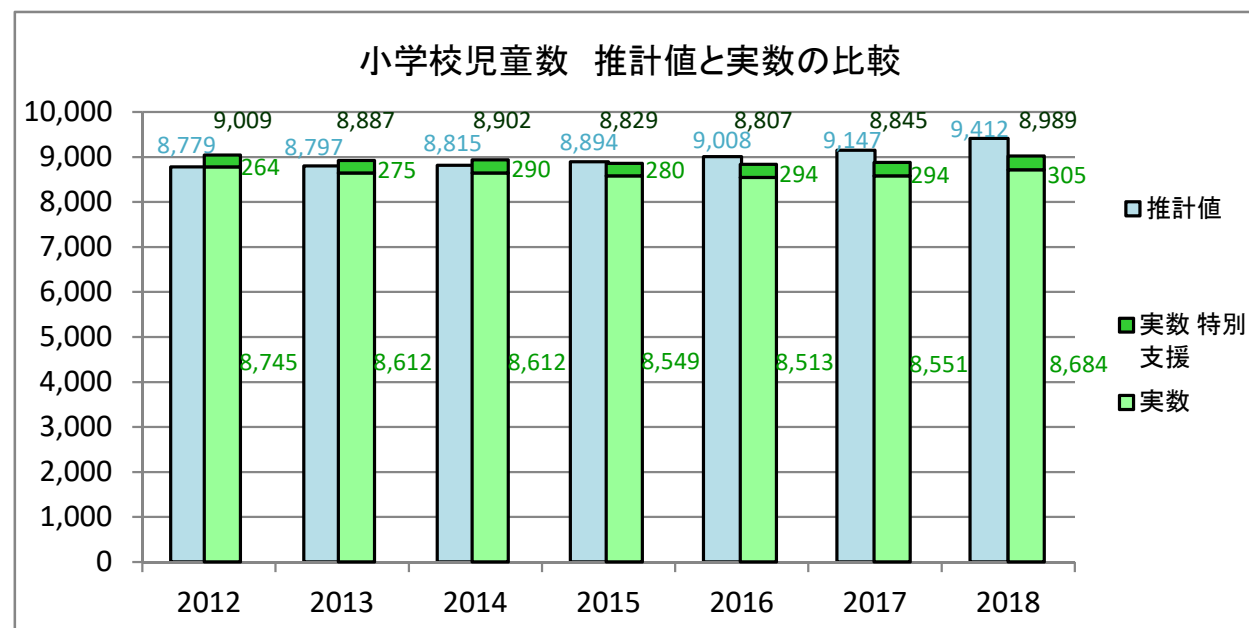


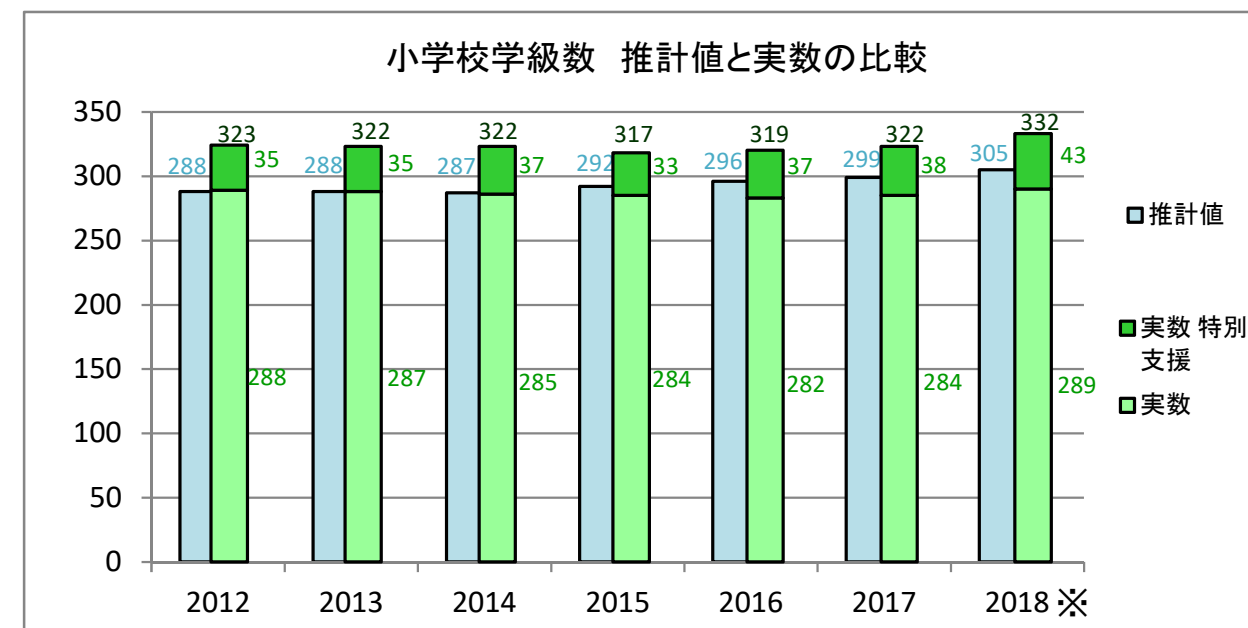
小・中学校の児童生徒数・学級数の推計値と実数の比較【第1期計画策定時推計】

○習志野市学校施設再生計画(第1期計画)における2012年から2018年の児童生徒数・学級数の推計値と実数を比較

小学校

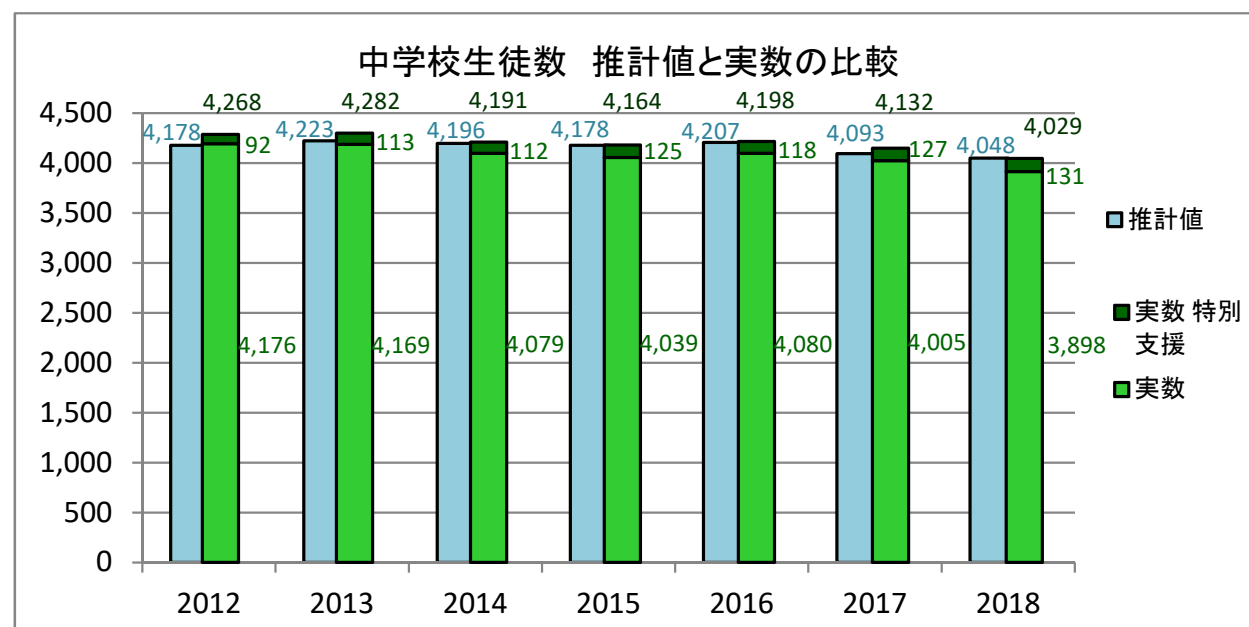


○2012年～2018年まで、推計値が実数を上回る結果となっている。

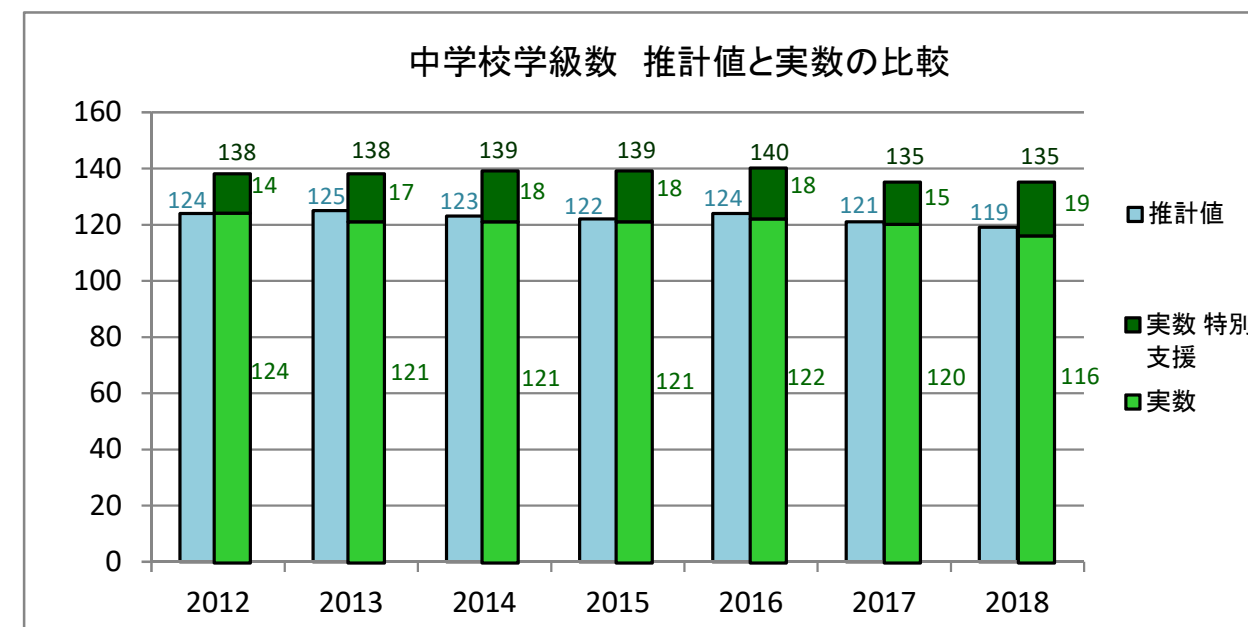


○2012年～2014年は、ほぼ推計値と実数は合っているが、2015以降は徐々に乖離している。

中学校



○2013年以降は、推計値が実数を上回る結果となっている。



○2012年～2018年まで、ほぼ推計値どおりの実数となっている。

■推計方法 (習志野市学校施設再生計画(第1期計画) 参考資料の説明に補足)

- ・推計値は、特別支援学級を除く普通教室学級数
 - ・学級推計に用いた町丁目別人口データに、コミュニティ別人口推計データによる人口移動率を乗じて算出
 - ・谷津・津田沼・向山・谷津南は、「JR津田沼駅南口開発の進展に伴う児童・生徒及び学級推計等業務」により算出した数値
 - ・仲よし幼稚園跡地は、平成30年度入居、750世帯で算出し、小学校推計では向山は(仲よし幼稚園跡地含む)の数値を計上
- ※小学校1・2学年及び中学校1学年は原則として1クラスを35人、他の学年は38人として算出した。
 学級編制の法的基準はあくまで小学校1年生が35人、他の学年が40人であるが、2017年度は県の弾力的学級編制措置として小学校2学年及び中学校1学年は、原則として1クラスを35人、他の学年は38人としている。(申請・認定される同意学級)

■推計値と実数の乖離の理由

主な原因としては、小学校では、JR津田沼駅南口特定土地地区画整理事業による児童数の増加が予測より下回ったことや、藤崎小学校区内の児童数の増加が予測よりも下回ったことによるものである。また、多くの小学校において、2018年度の児童数の実数が推計を下回った。中学校においては、概ね推計と実数は一致している。